

第108回薬剤師国家試験に向けて

学校法人医学アカデミー
薬学ゼミナール学長

木暮喜久子



の状況を踏まえた国試対策を進めてください。

第107回国試の難易度は106回とほぼ同程度でしたが、臨床的な視点に立った問題が多く、遺伝子治療などの新項目が出題され、すべての科目で医療や臨床に関連した問題が増加しました。13年度に改訂された「薬学教育モデル・コアカリキュラム(現コアカリ)」を反映した薬理と病態・薬物治療、薬物治療と実務を絡めた問題は第106回より増加し、科目の枠にとられない複合的な知識が必要でした。実務実習で体験してほしい「代表的な8疾患」では、継続して出題の多い癌や感染症以外に、循環器系疾患(心疾患と高血圧)の出題も増えています。

現在、医学・歯学・薬学教育の3領域で一部共通した新たなコアカリの改訂作業が、22年度末の策定を目指して進んでいます。第107回国試の臨床を意識した流れは、この改訂を背景にしていると考えられ、第108回もこの傾向は変わらないと思われます。

ルし、多科目にリンクしやすくなっています。

表2に示すように、国試は345問で出題されます。合格基準には、必須問題での足切り(全問題への配点の70%以上で、かつ、構成する各科目の得点がそれぞれ配点の30%以上)や禁忌肢を考慮し、平均点と標準偏

差を用いた相対基準が用いられています。

第107回の合格ラインは、全問題の得点が62.90%(345点換算で217点)で、ここ3年の国試(344点換算で第106回215点、345点換算で第105回213点)では若干高くとなりました。また、禁忌肢選択数は「2問以下」でしたが、薬ゼミの分析によると第107回の合格者数に禁忌肢による大きな影響はなかったと思われます。また、必須問題での足切りも影響は少なかったと思われます。

表2 薬剤師国家試験問題区分と合格基準

科目	問題区分				出題数計
	必須問題	一般問題	薬学理論問題	薬学実践問題	
物理・化学・生物	15問	45問	30問	15問 (複合問題)	60問
衛生	10問	30問	20問	10問 (複合問題)	40問
薬理	15問	25問	15問	10問 (複合問題)	40問
薬剤	15問	25問	15問	10問 (複合問題)	40問
病態・薬物治療	15問	25問	15問	10問 (複合問題)	40問
法規・制度・倫理	10問	20問	10問	10問 (複合問題)	30問
実務	10問	85問	-	20問 + 65問 (複合問題)	95問
出題数計	90問	255問	105問	150問	345問

※実践問題は、「実務」20問、およびそれぞれの科目と「実務」とを関連させた複合問題130問からなる

第107回国試の結果

総合格率68.02%は第106回(68.66%)より若干低下し、近年で最も低い結果でした(表1)。

表1 第107回薬剤師国家試験の合格率

	合格率	出願者数	受験者数	合格者数
総数	68.02%	15,609人	14,124人	9,607人
6年制新卒	85.24%	9,726人	8,665人	7,386人
6年制既卒	40.75%	5,585人	5,217人	2,126人
旧4年制卒 受験資格認定者	39.26%	298人	242人	95人

は、85.24%(合格者数7386人)で第106回(85.55%)、第105回(84.78%)とほぼ同程度、6年制既卒の合格率は40.75%(合格者数2126人)で、第105回(42.67%)、第106回(41.29%)とここ数年で最も低い結果でした。

新卒の合格率は既卒より高いことから、第108回国試を受験される6年生の皆さんは、新卒での合格を目指し

てなるべく早く国試対策をスタートさせてください。国試合格には各科目の知識をつなげた学修が必須で、科目リンクができる参考書の活用が重要です。受験生の約95%が使用している薬剤師国家試験対策参考書「青本」(https://www.yakuzemi.ac.jp/reference)は薬理と病態・薬物治療を複合的に学べる本としてリニューアル

薬ゼミ自己採点システムによる分析

薬ゼミの自己採点システムは、第107回国試受験者総数が1万4124人の中、1万2580人に登録していただいています。「基礎力」に加え「多科目の知識を活用する力」等を必要とする難易度の高い問題が増加していましたが、同システムの分析から、正答率が60%を超える問題数が、第105回は228問、第106回は225問と減少傾向にありましたが、107回では229問と微増したので、しっかりと

得点できる問題を押さえることが大切です。

薬ゼミ自己採点システムによる第107回の平均点は、第106回に比べて

表3 第105~107回薬剤師国家試験の出題形式別平均得点率(得点)比較

出題形式	107回	106回	105回
必須(90問)	80.1% (72.1点)	81.8% (73.6点)	80.0% (72.0点)
理論(105問)	61.0% (64.0点) ※2	59.3% (62.2点)	60.5% (63.5点)
実践(150問)	67.2% (100.8点) ※2	66.3% (98.8点) ※1	65.3% (97.9点)
合計	68.7% (236.9点) ※2	68.2% (234.6点) ※1	67.6% (233.4点)

※1 第106回は、問320が採点除外のため、実践149問、合計344問
※2 第107回は、問98、問328が採点考慮のため、全員加算

キャリアデザインのための第一歩!

薬学生のための オンラインカレッジ

2022 5/15 SUN

LIVE 配信 12:00-18:00

マイナビ 2024

全学年対象 | 視聴無料
カメラ・マイク OFF で参加

詳細情報・
視聴予約は
コチラ!



主な出展予定法人 (一部抜粋・順不同)

エーザイ | 第一三共 | エイツーヘルスケア【伊藤忠グループ】 | 医薬品医療機器総合機構
H.U. グループホールディングス | ウエルシア薬局(薬剤師コース) | スギ薬局(スギ薬局グループ)
トモズ(住友商事グループ)【薬剤師職】 | サンドラッグ | くすりの福太郎 | 薬樹 | メディカルシステムネットワーク
富士薬品グループ【ドラッグセイムス・ドラッグユタカ・アメリカンドラッグ】
鈴木薬局(住友商事グループ) | 上尾中央医療病院グループ(AMG) | 南山堂

など続々 LIVE 配信!!